

「三宝通信」法話

浄土宗 天上山 大念寺

住職 大島祥明



二千人以上を葬送したお坊さんのはなし

何十年も時空を超えて 「本人」が存在していた

よく霊が人に憑依する、です。

乗り移るなどと言いますが、そのようなことは実際にあるのです。青森から仕事で出てきたのですが、ある日突然子

私が遭遇した例では、どものようになり、二階のこんなことがありました。ベランダからぶらさがった故人は昭和十六年に、三輪車を乗りまわした六歳でハシカで亡くなり、たりして仕事ができなくなりましたが、戦時中のことになってしまったのです。そのので満足のいく葬儀ができません。それが故郷に帰って入院したのですがなかなか治りませ

時がたつて最近のこと

からときどき故人が夢に出てきたりしていたので、これはなにかある……。と思ったのでしよう。人づてに私のことを聞いて、供養の依頼に来られました。私がお宅に行ってみますと、仏壇はあるのですがホコリだらけです。そして、中の位牌はそれもう埃だらけなのです。思わず手を合わせたとき、たしかに感じるものがありました。どうも何十年も前に亡くなったはずなのに、故人の状態はそんなに昔のことではなくて、まるでたったいま亡くなったかのようなのです。そして、非常に強く「本人」を感じることができると

す。そこで、本人に伝わるように深々とお経をあげました。十分くらいあげたでしょうか、やがて「本人」がスツキリと爽快になつてきたという実感がありました。こうして私は、供養させていただけのお宅を辞しました。後で聞いたのですが、その晩、青森から電話があり、夫人の弟さんが「今日、供養してくれてありがとう」と喋って正気がもどいたというのです。

【大島祥明】1944年大阪市生まれ。仏教大学、同大学院修了(文修)、浄土宗僧正。87年12月、船橋市上山町に大念寺開山。08年5月、同市馬込町に新寺移転。

より引用。

▽同著の問い合わせ

☎03-32239562

1 PHP研究所書籍

第一部

【大島祥明】1944年

大阪市生まれ。仏教大学

同大学院修了(文修)、

浄土宗僧正。87年12月、

船橋市上山町に大念寺開

山。08年5月、同市馬込

町に新寺移転。